

令和5年度 第3回佐倉市オーガニックビレッジ推進部会 概要

1. 日時：令和6年3月22日（金）10時00分～11時20分
2. 場所：佐倉市役所社会福祉センター地下1階研修室
3. 出席者：農業者2名、事業者2名、消費者2名、JA1名、千葉県2名、佐倉市3名、事務局4名
オブザーバー：農林水産省関東農政局千葉県拠点3名
農林水産省関東農政局印旛沼二期農業水利事業所1名

4. 概要：

- ポイント
- ・令和6年度事業計画（案）が全会一致で承認された。
 - ・有機農業者のグループ化の方向性について、全会一致で承認された。

(1) 議事

①報告事項 令和5年度事業報告（採決なし）

事務局から資料1・2に沿って説明を行った。主な質問・意見は以下のとおり。

（質問）実績額が年度当初の予算額から減少しているがなぜか。

（回答）当初の予算は全体の枠であり、実際に執行した額が今回の実績額として報告している。

（質問）有機農産物等流通システムは当初の計画にはなかったが、途中で追加したものか。

（回答）取組を進める中で出てきた課題を踏まえて、学校給食関連の取組として実施することとしたもの。

（質問）成果目標の数値が増加していることについて、その要因をどのように考えているか。

（回答）オーガニックビレッジ宣言や各種研修会の効果が現れたものと理解している。

（質問）有機農業の面積についてかなり増加しているが、品目は何か。

（回答）少量多品目の生産者が多いため、詳細な品目までは把握していないが、さつまいもは特に増えている印象。

（質問）令和9年度の目標値を達成しているものもあるが、目標値は更新するのか。

（回答）来年度、1年間かけて議論を重ねる中で検討したい。

（質問）関連目標のうち有機農産物を利用したことのある学校数のカウント方法は。

（回答）米以外を一度でも利用したことのある学校はカウントしている。

(意見) 目標値について、ほ場の場所や周辺環境、売り先など、より詳細な分析をしていくと良いと思う。

②提案事項 令和6年度事業計画(案)(全会一致で承認)

事務局から資料3に沿って説明を行った。主な質問・意見は以下のとおり。

(質問) システムの経費が占める割合が大きいが、いつまで実証を行う予定なのか。

(回答) 実証は令和6年度までの予定。実証の結果次第ではあるが、順調に行けば令和7年度から本格運用もあり得る。

(意見) かなりの経費がかかっているなので、無駄にならないようにしっかり進めてほしい。

(意見) システム開発の経費としてはむしろ安く済んでいる方だと思うので、じっくり時間をかけて検討すべき。

(意見) 34校で活用するのは関係者も多く、大変だと思う。実際にどの程度使ってもらえるかも大事なので、じっくり進めてほしい。

③提案事項 有機農業者のグループ化について(全会一致で承認)

事務局から資料4に沿って説明を行った。主な質問・意見は以下のとおり。

(質問) 3月に開催された環直説明会の参加者は何名程度だったか。

(回答) 20名以上の方にご参加いただいた。

(質問) 新しい組織の位置づけはどのようになるのか。

(回答) 佐倉市地域農業再生協議会または佐倉市オーガニックビレッジ推進部会の内部に設置する形になる予定。

(質問) 環境保全型のグループと有機農業者のグループの2つ作るのか。

(回答) 有機農業者を含む形で、環境保全型のグループ1つだけを作る予定。

(以上)